

# 個性派本屋3選

今回は、大型店とは一味違う品揃えを誇る個性派ブックストアを紹介。秋の入口に、独特の世界が広がる書店を覗いてみよう。

## 女性のための書店 馨巢書屋



**馨巢(シンチャオ)書屋**

📍 建国中路10号 5号楼5110

☎ 400-0303-096

🕒 10時~21時半

💰 自習室利用は 68元~/3時間

① ピンクのかわいい店構え

② 女性に焦点を当てた本が揃う

③ コーヒー購入でスペース利用は自由

④ イベント用のブースも用意



## 雑誌専門店 ZiWu雑屋

- ① 3階まで吹き抜け、シャンデリアが美しい
- ② 「PEN」「POPEYE」「LEON」など日本雑誌多数
- ③ ちょっとマニアックな雑誌も
- ④ 矢沢永吉のレコードを発見



**ZiWu雑屋**

📍 建国中路10号1号楼

☎ 6335-3676

🕒 11時~20時

💰 入場料50元、14歳以下入場禁止

建国中路	重慶南路
建德路	思南路
田子坊	建国中路
	泰康路



**女性がテーマの本が集結**

ジェンダーフリーや女性の活躍に焦点を当てた書籍が揃う「馨巢書屋」。ピンクの曲線的な内装が可愛い。

3階建ての店内には、家庭、仕事、子育てなど女性とその生活に特化した書籍がズラリ。児童書も豊富で、特にジェンダーや性教育に関する絵本が充実。テーマが貫いており、手を抜かない品揃えが専門店らしく、来店者に新しい発見を与えてくれる。

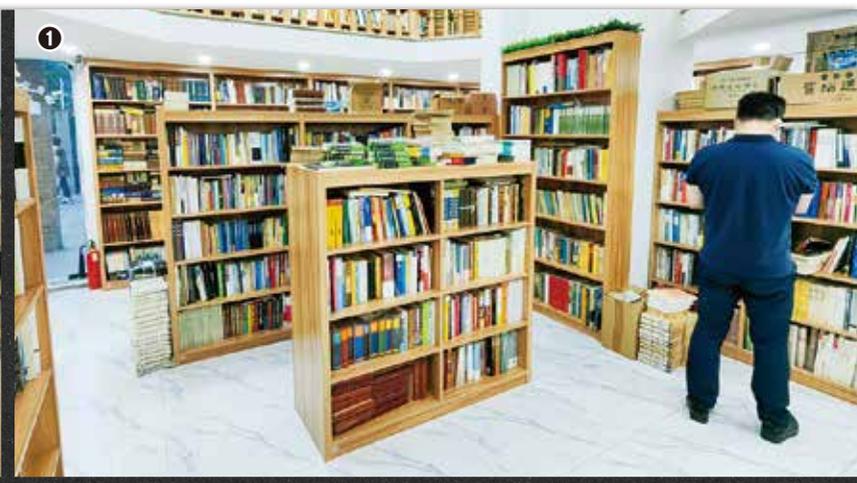
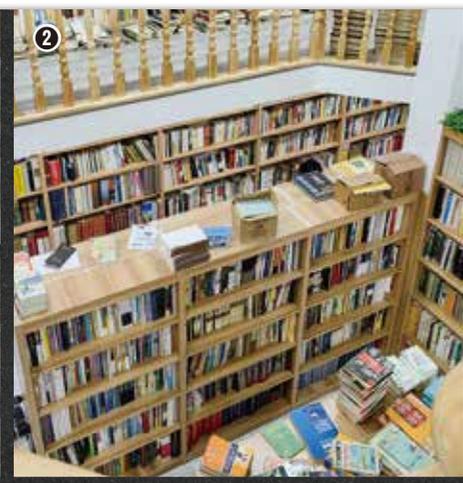
同店ではイベントも定期的に開催しているようで、同店微信公式アカウントからオンライン読書会に参加できるほか、2~3階でイベントブースも貸し出している。また別料金で使える自習ブースもあり。なお店員によると、男性の利用者も歓迎で、実際に男性利用者やカッパルの来店者も多いとのこと。静かな環境は作業スペースとしても重宝しそうだ。

**各国の雑誌を読みふける**

雑誌専門店「ZiWu雑屋」。吹き抜けの広い店内に浮かぶシャンデリアが何ともオシャレだ。同店は微信から50元の入場券を買う必要があるが、これは雑誌の15%オフクーポンとドリンクチケットとして利用できる。

1階に平積みされた雑誌は日本のものも多く、「Pen」「Brutus Casa」「個人」といった文芸・総合雑誌から、演歌・歌謡曲の「歌の手帖」、カメラの「フォトテクニク」など専門誌まで多岐に渡るジャンルを販売。総合的には美術やデザイン、カメラに関わる雑誌が多めだ。たまたま中古品のようで、状態はよくない。買って帰るより、店内で読んだ方がお得。イスマも多いので、入場券でもらえるコーヒー片手にゆっくり読もう。

1階奥にはレコードも販売。2、3階は美術専門書が置かれているが、非売品も多い。



**地元感溢れる古本屋**

上海の活字中毒者ご用達の古書店「復旦旧書店」。最近店舗を引っ越し、店内が少しだけ整理された。

ドアを開くと本独特の匂いがむわっと広がる。古本がぎゅぎゅぎゅと詰め込まれた店内では、老若男女が本を物色している。

大学エリアにある古本屋らしく、ラインナップは論文、専門書など難しい本が多い。しかし、仮想通貨の本の下にキラキラの少女漫画が突っ込まれているなど、本の陳列はかなり自由。日本語の本や絵本も数冊見つけたが、どれもかなり年季が入っていた。中国語の絵本や漫画コーナーもあり。「小人書」といわれる中国版ミニ漫画も結構置かれていた。

本棚の上や下にも本が積み重ねられており、その間に埋もれるようにして本を探る市民の姿は一種独特。中国の古本・絵本好きはお宝探しに出掛けてみては？

**活字好きの拠り所 復旦旧書店**

📍 偉徳路88号

☎ 5566-0801

🕒 9時半~21時

💰 入場無料

- ① 所狭しと積まれた古本
- ② 棚から本が溢れている
- ③ 宝探しが捗る乱雑さ
- ④ 貴重な古い書籍や新聞も展示